



## 2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年1月13日

上場会社名 株式会社プログリット 上場取引所 東  
 コード番号 9560 URL http://www.progrit.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡田 祥吾  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理部長 (氏名) 谷内 亮太 TEL 03 (6381) 7760  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第1四半期の業績（2022年9月1日～2022年11月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	674	-	154	-	149	-	101	-
2022年8月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	27.19	25.62
2022年8月期第1四半期	-	-

(注) 1. 当社は、2022年8月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2022年9月29日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2023年8月期第1四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2023年8月期第1四半期	1,758		775		44.0
2022年8月期	1,509		409		27.0

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 774百万円 2022年8月期 408百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年8月期	-	-	-	-	-
2023年8月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年8月期の業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,566	13.9	332	1.8	324	1.2	214	14.6	56.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6 「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年8月期1Q	3,838,927株	2022年8月期	3,444,627株
② 期末自己株式数	2023年8月期1Q	0株	2022年8月期	0株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年8月期1Q	3,721,937株	2022年8月期1Q	3,414,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手について)

当社は、2023年1月13日(金)に機関投資家及びアナリスト向けに四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

上記説明会のほかにも、当社では個人投資家のみなさま向けに、定期的に事業・業績に関する説明会を開催していきます。この説明会で配付する資料および主な質疑応答は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。今後の開催の予定等については、当社ウェブサイトをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文章中の将来に関する事項は、当第1四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。また、当社は、2022年8月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における当社を取り巻く経営環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の長期化・再拡大の懸念から先行き不透明な状況が続いております。一方で、2022年3月以降国内主要エアラインにおける国際線旅客数の回復基調は継続し、また2022年10月からは新型コロナウイルス感染症に関する水際対策緩和を受け訪日外客数も徐々に増え始めるなど、国際間の移動の再開も確認されております。このことから、企業における海外転勤や個人の海外渡航への意欲が回復傾向にあるものと見ております。

国内市場の縮小や少子高齢化への懸念を持つ企業の海外市場への進出、グローバル人材の確保といった中長期的視点での英語学習への意欲は依然として高く、期待した成果を上げられていなかった従来型の英会話サービスから英語コーチングサービスへの乗り換えの動きも散見されるようになりました。また、個人での英語学習だけでなく、従業員育成・福利厚生の一環として英語学習の導入を検討する企業のニーズも存在することから、中長期的な英語学習市場は堅調に推移していると見ております。

このような環境の中、当社におきましては、英語コーチングサービス「プログリット」において、集中学習によって飛躍的に英語力を向上させるために、①顧客ごとにカスタマイズしたカリキュラムの設計、②英語学習を継続させる習慣を身につけるためのコンサルタントによるサポート、という主に2つの特徴において、継続的な品質向上と改善に取り組んでおります。当第1四半期累計期間においては2022年9月29日に東京証券取引所グロース市場への上場後積極的に取り組んだメディア対応等を通じた知名度向上により、特に個人顧客の予約数・契約数は増加傾向にあります。また、サブスクリプション型の英語学習サービスである「シャドテン」はYouTuberとのタイアップ動画等の効果的なプロモーションによる申込数の増加、学習コンテンツの拡充やアプリの顧客体験改善等による平均継続期間の増加等により、有料課金ユーザーは増加の一途を辿っており当社の収益基盤として順調に成長しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は674,267千円、営業利益は154,714千円、経常利益は149,044千円、四半期純利益は101,210千円となりました。

なお、当社は英語コーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は1,758,474千円となり、前事業年度末に比べ248,756千円増加しました。これは主に、現金及び預金が248,219千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は982,825千円となり、前事業年度末に比べ117,266千円減少しました。これは主に、未払法人税等が74,329千円、未払金が25,563千円、長期借入金が20,625千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は775,649千円となり、前事業年度末に比べ366,022千円増加しました。これは資本金、資本剰余金がそれぞれ132,405千円、利益剰余金が101,210千円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月14日に発表しました通期の業績予想につきましては、現時点にて変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	975,541	1,223,761
売掛金	38,128	55,195
商品	15,134	15,752
貯蔵品	6,987	6,829
前払費用	56,497	44,490
その他	863	770
流動資産合計	1,093,154	1,346,800
固定資産		
有形固定資産		
建物	165,819	165,819
減価償却累計額	△38,367	△41,252
建物(純額)	127,452	124,567
工具、器具及び備品	14,511	14,801
減価償却累計額	△8,843	△9,348
工具、器具及び備品(純額)	5,668	5,453
有形固定資産合計	133,120	130,020
無形固定資産		
ソフトウェア	35	26
無形固定資産合計	35	26
投資その他の資産		
出資金	20	20
長期前払費用	1,446	1,014
繰延税金資産	64,568	64,568
敷金	216,572	215,223
その他	800	800
投資その他の資産合計	283,407	281,626
固定資産合計	416,564	411,673
資産合計	1,509,718	1,758,474

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,406	12,470
1年内返済予定の長期借入金	102,558	92,788
短期借入金	10,000	10,000
未払金	95,885	70,321
未払費用	58,549	62,532
未払法人税等	127,784	53,454
契約負債	447,057	467,885
預り金	15,519	26,838
賞与引当金	45,720	25,207
その他	42,964	39,305
流動負債合計	957,446	860,805
固定負債		
長期借入金	136,276	115,651
資産除去債務	6,369	6,369
固定負債合計	142,645	122,020
負債合計	1,100,091	982,825
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	118,454	250,860
資本剰余金		
資本準備金	115,454	247,860
資本剰余金合計	115,454	247,860
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	174,264	275,475
利益剰余金合計	174,264	275,475
株主資本合計	408,173	774,195
新株予約権	1,453	1,453
純資産合計	409,626	775,649
負債純資産合計	1,509,718	1,758,474

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2022年11月30日)
売上高	674,267
売上原価	187,288
売上総利益	486,978
販売費及び一般管理費	332,264
営業利益	154,714
営業外収益	
ポイント還元収入	771
印税収入	127
その他	0
営業外収益合計	899
営業外費用	
上場関連費用	5,522
支払利息	688
その他	359
営業外費用合計	6,569
経常利益	149,044
税引前四半期純利益	149,044
法人税、住民税及び事業税	47,833
法人税等合計	47,833
四半期純利益	101,210

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年9月29日をもって東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年9月28日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式）増資による新株式394,300株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ132,405千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が250,860千円、資本剰余金が247,860千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。